

楽典

I

1) から5) の音程名を () に記入しなさい。
また、6) から10) は転回音程名を [] に記入しなさい。
ただし、複音程は単音程に直すこと。

II

例) にならない、1) から5) の和音について、一覧のなかから当てはまる和音の種類を選び、その番号を () に書き入れなさい。
また、その和音が所属する調を全て答えなさい。
ただし、短調は和声短音階で、調号は#・bそれぞれ7つまでの調で考えること。

(①)

C dur
F dur
G dur
e moll
f moll

一覧

- | | | |
|--------|--------|--------------|
| ①長三和音 | ②短三和音 | ③増三和音 |
| ④減三和音 | ⑤長七の和音 | ⑥短七の和音 |
| ⑦属七の和音 | ⑧減七の和音 | ⑨減五短七(導七)の和音 |

III

例) にならない、指定された音階(主音から主音まで)を全音符で、指示された譜表に書き入れなさい(#・bそれぞれ7つまでの調で考えること。文中のアルファベットはドイツ語表記とする)。

例) a mollの同主調の音階を、調号を用いて高音部譜表上に。

- 1) 音階構成音にFesを含む長音階を、調号を用いて高音部譜表上に。
- 2) D音で始まるドリア旋法の第6番目の音を主音とする長音階を、調号を用いずにソプラノ譜表上に。
- 3) 中音がCの長調の音階を、長6度上方に移調し、調号を用いてテノール譜表上に。
- 4) 属音がB音の短調の和声短音階を、調号を用いずにアルト譜表上に。
- 5) シャープが3つの長調の上主音を、音階の導音とする短調の旋律短音階下行形を、調号を用いずに低音部譜表上に。

IV

次の楽曲断片を調判定して、() 内に調名を記入しなさい。

V

次のA群の楽語にもっともふさわしい訳語をB群から選び、その番号を（ ）内に書き入れなさい。

〈A群〉

- ① ad libitum
- ② maestoso
- ③ presto
- ④ ottava alta
- ⑤ rallentando
- ⑥ nobile
- ⑦ giocoso
- ⑧ dal segno
- ⑨ dolce
- ⑩ en dehors

〈B群〉

- 1. 緩やかに
- 2. だんだん速く
- 3. 上品に
- 4. 冒頭から
- 5. 動きをもって
- 6. 自由に
- 7. 柔らかく
- 8. 荒々しく
- 9. まじめに
- 10. 極めて速く
- 11. 嵐のように
- 12. だんだん遅く
- 13. 浮き立たせて
- 14. 正しいテンポで
- 15. おどけて
- 16. オクターブ高く
- 17. 記号から
- 18. 堂々と
- 19. 神秘的に
- 20. オクターブ低く

VI

- 1) 次の楽曲の⑦、①で示された音は非和声音であるが、その名称を
 (①倚音 ②逸音 ③経過音 ④刺繍音 ⑤先取音 ⑥掛留音 ⑦保続音) から選び、
 番号で答えなさい。



- 2) 上記楽曲を「調号を用いずに」短2度上に移調しなさい。